岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　その他河川　仮屋谷川　砂防事業に伴う測量設計等業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor.4	調査位置	竹原市港町	北緯	34° 19′ 41.0299″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成30年12月14日～平成30年12月17日	東経	132° 55′ 25.8356″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	32.00m	角度	180°（上）90°（下）0°	方向	北 0°、270°（西）、90°（東）、180°（南）
地盤勾配	33°（水平 0°、鉛直 90°）	使用機種			
試錐機	東邦地下工機D-0				
総掘進長	5.00m	エンジン	ヤンマーディゼルNFD13-EK	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
	31.90	0.10		砂	黒茶									
	31.30	0.70		礫混り砂	茶褐									
1	30.40	1.60		風化花崗岩	白茶褐	w3	h1	D	Ⅳ	c	D	18[18](100)	GL-0.00～0.10mは表土で砂。植物根を含む。 GL-0.10～0.70mは崖錐堆積物で、礫混じり砂。 全体的にφ=2～20mm程度の角礫を混入する。 また、一部でφ=3cm程度の玉石を含む。	
2	29.90	2.10		花崗岩		w2		C	Ⅲ	b	CL	18[28](100)	GL-0.70～5.00mは基盤岩。 GL-0.70～1.60mまで、DH級の風化花崗岩。 コアは、礫状主体で採取され、ハンマーで砕ける。	
3											CM	24[38](100)	GL-1.60～5.00mまで、CL～CM級の花崗岩。 コアは柱状～短柱状主体で採取され、比較的新鮮かつ硬質である。	12/14 3.80
4												18[25](100)		
5	27.00	5.00												
6														
7														
8														
9														
10														

標準貫入試験

深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	50以上	1.05	50	200	
		1.29			
	50以上	2.00	50	50	
		2.05	50		
	50以上	3.00	50	10	
		3.01	10		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
12/14	786	90	S/MC	0.0	0	0.0	W1 0.0	0.0
	563							
	300			10.0	60	0.1	W4 15.0	15.0
	79		HW/D	10.0	180	0.1	W4 15.0	8.0
	143		SW/NC	30.0	60	0.1	W4 15.0	15.0
	113		HW/NC			0.2	W4 15.0	15.0
	127	66	HW/DI	20.0	180	0.2	W4 15.0	0.0
	128						W4 15.0	0.0